

薬剤名と数量が処方箋データと一致しているかを判定 監査支援システム「PROOFIT (プルーフイット)」

光学設計技術や画像解析技術、文字認識技術を活用して、高精度かつ瞬時に判定できる

● 新発売 ●

2016年4月4日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、薬局で提供される薬剤の製品名と数量が処方箋データと一致しているかを判定する監査支援システム「PROOFIT(プルーフイット)」を、2016年4月21日より富士フイルムファーマ株式会社(社長:井上 章)を通じて発売いたします。「PROOFIT」は、富士フイルムの光学設計技術や画像処理技術、富士ゼロックスの文字認識技術などを組み合わせて開発した、薬剤師の監査業務^{※1}をサポートするシステムで、高精度かつ瞬時に薬剤名を認識、数量を計測でき、監査結果も保存できます。

患者の健康被害を防ぐため、薬剤師には、患者に薬剤を渡す時に薬剤の種類や数量に間違いがないかを確認する監査業務が義務付けられています。監査業務では、薬剤師が目視で薬剤の種類や数量を確認することが一般的ですが、近年、目視のみならず監査業務をサポートするシステムも活用して、監査業務の正確性や効率性をより高めていきたいというニーズがあります。

今回発売する「PROOFIT」は、薬剤をステージ上で撮影し、撮影した画像を解析することで、高精度かつ瞬時に薬剤名と数量が処方箋データと一致しているかを判定する監査支援システムです。「PROOFIT」は、バーコードの読み取りだけでなく、富士ゼロックスが開発した、多様なフォントに対応する文字認識技術を活用して、PTP^{※2}シート上の文字を高精度に読み取り、薬剤名を認識します。さらに、富士フイルムの光学設計技術や画像処理技術で、PTPシートの端面や画像内の陰影を解析することにより、重なった束の状態のまま PTPシートの枚数や端数の錠剤数を正確に計測できます。「PROOFIT」で確認した薬剤名・数量と、調剤時に入力する処方箋データが異なる場合、即座にアラームを発生し、薬剤の取り間違いを未然に防止。薬剤師の監査業務の正確性向上とともに、効率化にも寄与します。この他、監査結果を薬剤の撮影画像とともに記録でき、より精度の高い監査履歴の保存が可能です。

「PROOFIT」は、クラウドを通じて、医薬品名データベースにアクセスでき、また「PROOFIT」本体のソフトウェアの自動更新も可能。新薬の情報更新など薬局における監査支援システムの維持管理にかかる業務負担を大幅に軽減します。加えて、操作性にも優れ、監査作業と記録保存をワンタッチで同時かつ瞬時に行うため、ストレスなく運用できます。

富士フイルムは、長年の写真事業で培ってきた光学技術や画像解析技術、グループ会社の技術を活かし、幅広い医療現場をサポートする高品質な製品を開発・提供していくことで、医療の質の向上に貢献していきます。



記

1.品名:
販売名: 監査支援システム「PROOFIT」

2.発売日:
2016年4月21日

3.価格
オープン価格

4.主な特長

- (1) 富士フイルムグループの技術により、高精度かつ瞬時に薬剤名を認識し、数量を計測
 - ・バーコードによる読み取りだけでなく、富士ゼロックスが開発した、多様なフォントに対応する文字認識技術を活用して、PTP シート上の文字を高精度に読み取り、その結果を医薬品名データベースと瞬時に照合することで、薬剤名を認識します。
 - ・富士フイルムの光学設計技術で、PTP シートの端面にフォーカスした画像を撮影することにより、重なった束の状態のままの PTP シートの枚数を正確に計測します。また、富士フイルムの画像処理技術を用いて開発した、画像内の陰影を認識する凸凹検知手法により、端数の錠剤数を正確に計測します。
 - ・「PROOFIT」で確認した薬剤名・数量と、調剤時に入力する処方箋データが異なる場合、即座にアラームを発生し、薬剤の取り間違いを未然に防止。薬剤師の監査業務の正確性向上とともに効率化にも寄与します。
- (2) 監査結果を薬剤の画像とともに記録し、監査履歴の精度向上を実現
 - ・薬剤を撮影した画像を保存することで、より客観性のある精度の高い記録が可能になります。また、過去の監査履歴を容易に検索・確認できます。
- (3) クラウドを通じた、医薬品名データベースへのアクセスと本体ソフトウェアの自動更新により、維持管理の工数を削減
 - ・クラウドを通じて、医薬品名データベースにアクセスでき、また「PROOFIT」本体のソフトウェアの自動更新も可能。新薬の情報更新など薬局における監査支援システムの維持管理にかかる業務負担を大幅に軽減します。
- (4) 優れた操作性によりストレスなく運用が可能
 - ・タッチパネルモニターで患者を選択し、薬剤を本体のステージ上に置いてタッチパネル上の撮影ボタンを押すと、瞬時に薬剤名と数量が処方箋データと一致しているかを判定し、監査結果を画像で保存します。監査する薬剤はタッチパネルモニターに拡大投影され、複雑な操作を伴わずに簡単に作業できるため、ストレスなく運用が可能です。
- (5)コンパクトサイズを実現
 - ・従来の監査支援システムは、主に秤で秤量することで数量を計測していましたが、「PROOFIT」は撮影画像を解析することで数量計測を行い、秤を必要としないため、コンパクトサイズを実現しています。

5.主な仕様

機器構成	<ul style="list-style-type: none"> ・PROOFIT 本体 ・デスクトップパソコン ・15 インチ タッチパネルモニター ・専用ルーター
本体寸法	・幅 420mm x 奥行 315mm x 高さ 274mm
動作保証環境	<ul style="list-style-type: none"> ・温度：15～30℃ ・湿度：15%RH～80%RH(結露なきこと) ・室内照明：750lx 以下で直射日光や手元照明など極端な明るさの変化がないこと
有効読取領域	<ul style="list-style-type: none"> ・薬種読取領域：幅 80mm x 長さ 150mm ・PTP 枚数読取領域：幅 58mm x 高さ 46mm(PTP シートは一度に最大 10 枚まで) ・PTP 端数読取領域：幅 80mm x 長さ 150mm

NSIPS®対応機器※3



※1: 薬剤師が患者に薬剤を渡す際に、調剤された薬剤を確認し、正確性の担保と安全性の確保を行う業務。

※2: Press Through Package の略。錠剤やカプセルを押し出すタイプの薬剤包装。

※3: NSIPS とは、日本薬剤師会が提案する薬局向けコンピューターシステム間の連携システム。NSIPS は公益社団法人福岡県薬剤師会の登録商標。(商標登録 第 5214610 号)

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】	コーポレートコミュニケーション部	TEL 03-6271-2000
【その他】	医薬品事業部	TEL 03-6271-2171
【製品紹介ページ】	http://fujifilm.jp/proofit/	